



学校便り  
No. 16

※番号は昨年度から継続

# 夢・挑戦

令和2年10月22日  
水俣市立水俣第二中学校  
校長 高橋 裕二

## 体育大会無事終了、赤団総合優勝！！

台風10号の影響で、第10回体育大会は9月8日（火）に順延して開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、マスク着用や昼食は敷地内は遠慮して頂くなど、保護者の皆様



のご協力に感謝申し上げます。【青団 応援団演舞】

さて、2週間という短い取組期間でしたが、実行委員長中村君を中心に、生徒の皆さんが集中して仕上げてくださいました。また、応援団は、赤団団長 浅野君、副団長 林田さん、青団団長 川元君、副団長 松崎さんやパネルリーダーを中心に、8月始めから応援演舞、パネルと朝早くから放課後まで頑張りました。

閉会式では、林田さんが「自分たちの知らないところで頑張ってくれた人がいたから体育大会が開催できた」、松崎さんが「当たり前前のことの大切さに気づくことができた」と感想を発表しました。解団式では、涙ながらに感謝の言葉を伝えた応援団員もいました。

体育大会を通して、学級や学年、応援団、そして学校全体の団結力が高まり、生徒一人一人が成長できたのではないのでしょうか。

## 「笑顔で、楽しく」学校生活を

9月から10月にかけて、友達が嫌がる言動や教室の窓や壁等に落書きする事案が、各学年でいくつか起こりました。学校では、授業や学校行事、部活動などを通して、多くの友達と一緒に集団生活しながら、人間関係やコミュニケーションなど社会性を身につけていきます。

時には、自分の思いどおりにならず、トラブルになることはよくあることです。しかし、他人の様々な考えや言動を認め、尊重し合い、楽しい学校生活にしていかなければなりません。言葉一つで、心が傷つき、命に関わることもあります。

これまで何度も書きましたが、「自分がされて嫌なことは、友達にも絶対してはいけません。」

## 駅伝女子、10年目で初の県大会出場！！

10月15日（木）、今年度唯一の中体連主催の郡市駅伝大会が開催されました。女子は優勝した津奈木中に43秒差の2位となり、旧二中から13年、旧三中からは10年ぶりとなる県大会出場を決めました。男子は2位の津奈木中に60秒差の3位で、惜しくも県大会出場を逃しました。



【女子1区林田さん】

選手は、7月から3ヶ月余り、始業前や放課後、休日と練習に取り組んできました。ペース走やインターバル走などを、男子は約10km、女子は約8km走った日もあったそうです。ときどき練習の様子を見てましたが、足や腰、膝などが痛い中、歯を食いしばって必死に走っている姿がありました。

今年度は、男女とも3年生がチームを引っ張ってくれました。また、一緒に練習してきましたが、大会当日は出場しなかった選手にも、感謝の気持ちで一杯です。「報われない努力はあるけれど、無駄な努力はない」という言葉があります。駅伝の練習は、「一緒に練習する仲間がいるからこそ、最後まで諦めず走ることができる」と聞きました。つまり、一人で練習するのはとても難しいということです。



【男子1区中村君】

部活動も一人で練習したら、途中で力を抜いたり、すぐに休んだりしてしまうのではないのでしょうか。授業も1日6時間、一緒に学ぶ友達がいるからこそ集中して勉強できると思います。家庭学習が難しいのは、自分一人で勉強しなければならないからです。

今回の駅伝練習のように、他の行事でも友達と一緒に努力しながら心と体を鍛え、すべての二中生が人間的に成長してほしいです。

郡市駅伝では、各中学校の先生方や地域の方から、「二中は男女ともに頑張りましたね」という声を、多く聞きました。また、男子よりも1時間早く会場入りした女子チームが、大会本部にあいさつに行った時、「選手のあいさつの仕方や態度がとても素晴らしかった。県大会に出場すると思っていました。」との言葉までいただきました。日頃の練習の姿から、「男女とも県大会出場する」と周りにはこっそり話していました。男子も本来の力を発揮できれば、県大会出場できると思います。男子の初出場を、来年度以降期待します。